

海自練習艦「せとゆき」艦上レセプションにおける梅田大使による挨拶

- ・レー・チュン・チン副委員長をはじめとするダナン市人民委員会の皆様、
 - ・チャン・ヴァン・ナム・ダナン大学理事長、
 - ・加藤 日越堺友好協会会長、
 - ・ベトナム国防省、武官団、ダナン日本商工会の皆様
- 日本政府を代表し、「せとゆき」「しまゆき」歓迎レセプションに多くの方に参加頂き感謝申し上げますとともに、一言ご挨拶申し上げます。
- 第1練習隊司令 中釜 義之（なかがま・よしゆき）1等海佐の下、約400名の皆さんが、カンボジアのシハヌークビルに続いて、ここダナン港に寄港されたことを、心より歓迎致します。
- 日越関係について少し説明させていただきます。現在、日本とベトナム両国指導者の間には、厚い信頼感が存在し、国民間にも強い親近感が存在しています。また、両国は、「海洋の自由航行」、「海洋法の尊重」といった基本的考えかたを共有しており、日越両国は「自然の同盟関係」にあるという人もいます。日越両国の連携強化は、両国の安全保障、経済的発展にとってとても重要です。特に、ダナンは、ベトナム中部の中核都市であるのみならず、日本にとってと重要なシーレーンの存在する南シナ海（東海）に面する戦略的要所に位置しており、ダナンの発展、ダナンとの交流強化は、日本自身の国益にとって非常に重要です。
- このような視点に立ち、ダナンとの間には、投資促進、地方自治体間の連携、観光、日本語教育など幅広い分野での関係が既に構築されています。先週、3月1日には当地セミナーで大規模な投資セミナーが開催され、たくさんの日本人が参加しました。来年1月には、領事事務所の開設を予定しています。
- 安全保障分野では、同様の視点から、日本の海上自衛隊とベトナム人民海軍との交流が強化されてきました。例えば、過去3年間、海上自衛隊の艦船によるベトナム寄港は、パシフィック・パートナーシップ（米海軍主催多国間共同訓練）や海上自衛隊外洋練習航海の下、年平均3回以上実施されました。
- 更に、昨年4月、リック国防大臣の日本公式訪問時作成された「日越共同ビジョン」に基づき、昨年後半、P-3C対潜哨戒機のダナン寄航、訓練潜水艦「くろしお」のカムラン国際港寄港も実現しました。また、ベトナム人民海軍フリゲート艦「チャン・フン・ダオ」が、ベトナム艦船として史上初めて日本（横須賀港、堺港）に寄港したことも画期的でした。
- 今回の「せとゆき」、「しまゆき」のダナン寄港は、両国軍関係者間の信頼関係強化にとってとても重要です。なお、明後日8日（金）、海上自衛隊呉音楽隊（20名）とベトナム人民海軍音楽隊（20名）が、チュン・ヴォン劇場で合同演奏会を行います。本合同演奏会の実現には、日越防衛当局、ダナン市人民委員会、加藤・日越堺友好協会会長、チャン・ヴァン・ナム・ダナン大学理事長から多大なる貢献を頂きました。演奏会の成功を心より期待致します。
- 最後に、皆様の御健勝、日越防衛協力の更なる進展、日越関係の一層の深化を祈念し、私の挨拶と致します。ありがとうございました。